

第38回 自然エネルギー上小ネット・情報交流会

エネルギー講演会：『自然エネルギーな暮らし方 ：バイオマスエネルギー編』

・激雨、超高温、大台風など記録にない異常気象：200年前280ppmだったCO₂が産業革命以来大量に燃やした化石燃料で放出され1.4倍の400ppmになった。そのCO₂が太陽光を浴び熱振動で大気を温め水蒸気を増やし住みにくい地球にしているといわれる。一方で化石燃料はその埋蔵ピークを越え枯渇年限がカウントされだしています。

私たちの里山資源・バイオマスの利用は、石油高騰に悩む生活防衛にもなるし、カーボンニュートラルで大気の安定も期待できます。森林は一年間で1ヘクタール当たり約5トンのバイオ成長を続ける、つまり再生可能資源であります。勿論森林には、水の循環や災害防止 さらには、生態系の保全、緑の葉によるCO₂と熱の吸収など大切な機能役割が有りますからそのバランスを取りながら賢い利用が必要・・・

今回はその利用技術として、バイオマスから石油に替わる燃料や化学材料を作り出す信大・嶋田先生の近未来に実用を目指している研究や、今すぐ活用できる、シンプルだが高い効率で安く生活に取り入れられる上田市内企業のバイオマスボイラー開発、の勉強会を企画しました。(後日、その現場の見学会も計画しています)

講演 (総合司会：高橋伸英)

I 『バイオマス資源から生み出す多用途な炭化水素物質の生産プロセスのはなし！』 13:30~14:10

信州大学繊維学部 からの研究報告

講師： 信州大学繊維学部 化学・材料学科 嶋田 五百里 講師

II 『木質バイオマス=コロコロ薪で熱効率と利便向上、ボイラー運転自動化新提案！』

14:10~14:40

うえだバイオマスボイラー製造企業団

講師： 自然エネルギー上小ネット・バイオマスエネ部会 川田富夫

III パネルディスカッション 『バイオマス； 環境とエネルギー等利用からの視点で！』

14:45~15:30

コーディネーター； 高橋 伸英 信州大学繊維学部教授

パネラー； 嶋田 五百里、 川田富夫、 会場の皆様

日時： 平成30年11月10日(土) 13:00受付 ~ 15:30

会場： うえだ駅前パレオ2F会議室 (上田市天神1-8-1 0268-29-0210)

参加費： 無料

申込み： どなたでも参加できます。 申込み不要、

主催：自然エネルギー上小ネット、協力：信州大学繊維学部

問合せ 自然エネルギー・上小ネット 090-4544-8875 (川田) 090-1533-2072 (末広)

自然エネルギー・上小ネットとは、「新しい公共」自然エネルギーの地消地産を目指し、地域の住民が主体となって、個人、任意団体、NPO、企業、大学、行政、自然エネルギー・信州ネットと連携し、地域の課題は地域で解決しようとする上小地域の協議会です。事業として、自然エネルギー啓発活動、自然エネルギー活用事業化の支援活動をしています。

自然エネルギー・上小ネット 会員募集中 Tel 090-1533-2072(末広) ssyslab@gmail.com